

令和3年度 中日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会 議事要旨

1. 日時：令和 3年12月17日（金）10：00～10：50
2. 場所：中日本高速道路株式会社 8階801、802会議室
3. 出席委員：中村委員長、小川委員、亀井委員、服部委員、二村委員（※）

（※二村委員のみオンライン会議での参加）

4. 議事要旨

○新東名高速道路（海老名南JCT～御殿場JCT）再評価 対応方針（原案）の審議

新東名高速道路（海老名南JCT～御殿場JCT）の再評価 対応方針（原案）を審議し、対応方針について原案のとおり了承された。

○主な意見

- ・当該路線の開通は、周辺の経済発展に大きく寄与し、渋滞緩和、災害対策等からも必要な事業である。事業費の増加についてもやむを得ないものであり、事業継続は妥当。
- ・当該路線の通過沿線地域は大規模地震発生の可能性が高まっており、当該路線の整備により強靱性、リダンダンシー（冗長性）が向上するものと考えられるため、整備効果において、そのような視点も考慮すべき。
- ・物流効率化について、首都圏で発現する効果だけでなく、清水港からの輸出货量変化など地方で発現する効果もあるのではないか。
- ・交通需要が高い路線であり、4車線整備区間がボトルネックにならないような形での6車線化整備が望ましい。
- ・円滑なモビリティの確保について、当該路線の開通で、厚木以西のサービス水準は大幅に向上するものの、常態化している横浜町田～厚木周辺の渋滞解消は期待できない。開通後の円滑な運用のため、伊勢原JCTでの誘導対策をしっかりと行い、新たなボトルネックが発生しないよう留意願いたい。

以 上